

# 川越に箱根駅伝優勝旗を見学に行く会



優勝カップの数々



柏原選手のスパイク

「総合優勝 東洋大学」の文字を見て、一同、感激を新たに



校舎には「祝優勝」の垂れ幕も



次への期待を胸に黙々と練習に励む選手たち



佐藤尚監督代行の説明を聞きながら



ップ等が所狭しと並んでおり、その数の多さに監督も驚かされている様子でした。

その後、ピロティにて優勝旗、優勝カップを囲んでの記念撮影、グラウンドにおいて練習の見学に移ると、そこには9区、10区で活躍の大洋、高見両選手が他の部員と一団となり、黙々と練習している光景が目に入り、そこにはすでに、次を見すえた戦いが始まっているという感じでした。

この間、監督代行は大会でのエピソードや次を担ってくれるだろうと思われる部員のことなどを話され、参加者全員が今回の優勝までの厳しい道程と、次期への期待とを実感することが出来た、川越での素晴らしい半日でありました。

緒方 剛 (S53・法律卒)

## 城東支部活動の今昔

城東支部は発足して50周年となります。この間に初代真深(台東)、二代石田(葛飾)、三代田中(墨田)、四代大滝(葛飾)、五代浅窪各支部長(江戸川)の下、確実な発展をとげてきました。

大学は10学部の総合大学になり、野球は日本一、箱根駅伝での総合優勝、学問においては、新司法試験において4名の合格者も輩出し充実しています。

当支部の更なる発展のためには、若くて行動力ある皆さんの参加を待っています。

2月11日(水)、佐藤監督代行にお願いしていた、川越合宿所に箱根駅伝優勝旗を見学に行く会を実施しました。

参加者は校友会、雨水会城東支部、近県雨水会支部より総勢35名。

まず、監督室に入ると緑色の優勝旗が置かれており、モールには「総合優勝 東洋大学」の文字。初出場より77年、67回目の挑戦で掴んだ優勝旗を近くで見ることが出来、今大会での母校の活躍を思い返しました。

監督室には、今回受賞した数々の優勝力

## ☆校友会費納入のお願い☆

支部の諸活動は、校友の皆さんの会費納入による支部への交付金で運営されています。多くの校友の方々のご理解、ご協力をお願いいたします。

年会費/3,000円 終身会費/50,000円

会費納入の方には、校友会本部から「校友会報」他の諸案内、当支部から「支部会報」の送付や諸行事の案内をいたします。

会費納入のための振替用紙(料金受取人払い)ご希望の方は、校友会事務局(☎3946-9111)にご連絡いただけるとお送りします。

## 編集後記

●今号もたくさんの支部会員のご協力で発行に漕ぎつけました。厚く御礼を申し上げます。と同時に、入り切らない原稿があったり、削除せざるを得ないものなど、叱正を覚悟で編集しました。

●今年も5月9日(土)、四谷区民ホールで今井杏羽子さんの第16回チャリティコンサートがありました。乳がん撲滅を祈って毎年開催されているものです。

●もうひとつお知らせしたいのが、会員の染野吉男さん(S60・経済卒)が3月5日急逝、78歳でした。染野さんは東京都の職員として都電や地下鉄の保守・保安業務に従事しながら、40代で夜間中学・高校を卒業、50代で東洋大学に入学・卒業されたという努力家で、定年後は地元自治会活動などに活躍されたとのこと。合掌。

●今年には東京5支部発足50周年、記念式典・懇親会を合同で行います。では会場で一。(山田)